



# Biz Com

ビズコム Vol.47

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/graduate/bizcom.html>


## Contents

<b>Business Now!</b> オフィス彩 代表取締役 一般財団法人 動物環境・福祉協会Eva理事長	杉本 彩氏 1-2
13期生ビジネスシミュレーション チーム紹介	3-5
院生活躍中! RBS NEWS&TOPICS	6
知的探求心を高めるひととき 研究会紹介	7
修了生インタビュー 鶴見大学歯学部非常勤講師 澤田 裕美氏	8

## Business Now!

株式会社オフィス彩 代表取締役

一般財団法人

動物環境・福祉協会Eva(エヴァ)理事長

Sugimoto Aya

杉本 彩氏

### ◆Profile

1968年 京都府生まれ  
1987年 東レ水着キャンペーンガールでデビュー  
1991年 株式会社オフィス彩設立  
2010年 株式会社リベラルライフ・クリエーション設立  
2014年 一般財団法人動物環境・福祉協会Eva設立  
主な著書に「いい男の愛し方」(朝日新聞出版)、  
「京都恋めぐり」(徳間書店)ほか。

●株式会社 オフィス彩  
創業:1991年 資本金:1000万円  
従業員数:6名 事業概要:①芸能家、音楽家、俳優等タレントの養成・紹介・斡旋並びにマネージメント②芸能に関するイベント、セレモニーの企画、構成、運営並びその興行 ほか

### —彩プロジェクト始動—

## 「個人力が集結してこそ実現できるものがある。」

2014年夏より、本学ビジネスデザイン研究科と女優・杉本彩さんが代表取締役を務める「オフィス彩」との共同プロジェクトがスタート!「オフィス彩」のコアコンピタンスを確認すると同時に、異なるコンピタンスと結合することで同オフィスの事業領域を拡げ、持続可能な事業とすることが目標です。そこで本紙編集部では杉本さんに緊急インタビュー。本プロジェクトへの期待や経営者としての思いをうかがいました。

—美貌と官能的な作品で多くのファンを魅了してきた杉本さん。実は会社経営者・動物愛護団体の理事長でもあります。なぜ本研究科とのプロジェクト実施を決断されたのでしょうか。

**杉本** オフィス彩は私をはじめ、10数名のタレントが在籍する芸能プロダクションです。経営上の意思決定は私と夫である副社長が行い、タレント育成やマネージメントについては担当者を配置しています。ただ、私は10代で芸能界に入ったので、ほかの業界のことはほとんど知らないのです。RBSのみなさんはビジネスに関して一通り学ばれ、さまざま

な業界で活躍している社会人とのことで、ビジネスパーソンとしての幅広い意見を聞いてみたい、MBAならではの能力をお借りしたいと思いました。弊社の取締役である橋本祐一郎さん(コプラムハウス株式会社代表取締役)がRBS修了生(5期生)というご縁でご提案いただき、参画を決めました。(編集部註:企画提案には6期生の丸山寛之さんも関わっております)

—女優、ダンサー、作家、経営者と多彩にご活躍されていますが、ビジネスに興味を持ち始めたのはいつですか?

**杉本** 漠然と起業を志したのは10代半ばにモデルを始めた時ですね。「私、人に使われるのは無理そうなので会社

勤めは向いていないだろうな」と。むしろ人の上に立つことをイメージしていました。当時の私が自分らしく生きられて、なおかつ稼げるのはモデル業しかなかったです。その頃、両親が脱サラして祇園で小料理屋を始め、商売をする姿を見ていたことも影響しているかもしれません。

大手プロダクション在籍時、お仕事はたくさん来ましたが、稼ぎ頭的存在でも会社の意向が優先され、もっとクリエイティブな活動がしたいと話しても上層部になかなか受け入れられなくて。独立したのは「心から満足できることをしたい」という一心でした。失敗もしましたし、表現者としての活動とお金の計算をどう両立させるかという葛藤は今も続いています。それでも自分で選んだ道なので、納得いくまで取り組めるといふ点では起業してよかったと思っています。

— 今春、動物愛護団体Evaの理事長に就任されました。なぜ今の一般財団法人の設立に至ったのでしょうか。

**杉本** Evaは、繁殖業者や虐待により、最終的には殺処分されてしまう犬や猫を守るモラルある社会の実現を目的に活動しています。個人や団体問わず相談に対応し、全力を尽くすことがポリシーです。約20年前から里親探しなど保護活動をしてきましたが、個人の活動には限界がありました。昨年、アニマルポリス※の制定を求め、京都市長へ提出する署名が7万2000人分も集まった時、活動を組織化する必要を痛感しました。同じ方向を向く人がたくさんいるというのはそれだけで力になります。



長崎市動物管理センターにて、殺処分を少しでも食い止めるため里親募集の取り組みを見学

一般財団法人にしたのは、それがもっとも活動しやすいスタイルだったから。設立時は私が資金を拠出しました。昔は、夫は芸能の仕事に支障があるとこの活動に

反対でした。ケンカもしましたが、今は応援してくれていますし、評議員でもあります。スタッフやボランティアなど周囲にサポートしてもらって今があります。法人化したことで活動への覚悟ができました。

強みといえるのは、芸能活動や保護活動の実績があり、国会議員や県知事、それに市長といった自治体の首長にも直接お会いする機会を持てるなど、外に広くメッセージを発信できることです。活動を継続するためには、寄付をいただくことも重要です。

— ボランティアは、日本ではまだ敬遠されがちでは？

**杉本** だからこそ、私は「乾かないこと」を目指したい。ワイ

ンや食事を味わい、情熱的に過ごし、おしゃれも人生も楽しむ。動物愛護やボランティアもそういった日々の生活の延長。もっと日本の社会にも、格好良さと充実感を得られるものとして、ボランティア文化が根付くように取り組んでいきたいです。



Eva 設立セレモニー。自身も京都の家には猫5匹、東京には猫3匹、そして犬3頭を飼っている

## 「ビジネスに重要なのは、利益追求だけでなくメッセージのせていくこと」

— 動物愛護だからといってまったく肉を食べなかったり、ベジタリアンを貫く、というわけではないのですよね。

**杉本** はい。ただ、お肉は、動物に過剰なストレスを与えず、動物の福祉に配慮されたものをいただくように意識しています。11月に開店したカレー店では、なるべく産地や過程が分かる食材を使用しています。店名(Koume)は、私が初めて引き取った老犬の名前です。ビジネスは利益追求だけでなく、メッセージをのせていくことも重要だと思うのです。私の場合は芸能、ライフスタイル、経営者としての活動、すべてが動物愛護活動に集約されています。

— 今後の構想をお聞かせ下さい。

**杉本** 将来的には生活の中心をEvaにシフトするのが夢ですが、当面の目標は犬や猫たちの保護施設の建設です。私は保護の現場で働きたいので、オフィス彩もEvaの事務局も、自分がオフィスにいなくても組織が回っていくような仕組みを作りたいです。今回のRBSとのプロジェクトでは、斬新な発想に驚きました。12月のビジネスプラン発表を期待しています。

— 最後に、女性経営者や理事長として活動する際の心構えやファッションのポイントをご教授ください。

**杉本** 視覚から受ける印象は重要なので、ほどよい華やかさのスーツにピンヒールを履きます。姿勢がよくなり、シルエットも美しくなります。無理は禁物ですが、ヒールの高さって意気込みが表れると思うのです。今の日本女性に必要なのはエレガントかつ堂々と振る舞うこと。ビジネスで相手と渡り合うのに不安げな態度はダメ。自信が持てなくても、強い意志が道を切り開くのだと信じています。



外国人記者クラブ(日本外国特派員協会)での会見

取材・文/星裕水、山原聖子、阿部正樹 写真提供/オフィス彩

## 12月4日に公開プレゼン開催

7月26日の初ミーティングには、13期4チーム、12期2チームの総勢30名が参加。ビジネスプランのコンペが始まりました。8月23日に杉本彩さんご本人を迎えて、第1回の意見交換会を行い、第2回の9月27日には提案されたプランをもとに熱心な議論が繰り広げられました。12月4日の最終公開プレゼンに向け、各チームともブラッシュアップに取り組んでいます。優秀なプランは事業化する予定です。詳細な内容はお楽しみに！

※アニマルポリス

動物の遺棄・虐待に関する通報や取り締まりのための制度。欧米で運用されているほか、日本では2014年2月から兵庫県警本部に全国初の「アニマルポリスホットライン」が設置された

●一般財団法人動物環境・福祉協会Eva  
<http://www.eva.or.jp/>

●Curry & Wine Koume

☎03-6457-8840

①東京都新宿区荒木町7-3モンセラート四谷1F

②月～金曜 11時30分～15時、18～24時(LO23時) 土曜は通し営業

③日曜・祝日